

令和5年度シラバス（音楽Ⅰ）

教科	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2 単位	学年	1 学年
使用教科書	教育芸術社 MOUSA 1				

◎学習計画

学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	備 考 学 習
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●既習曲「夢の世界を」「翼をください」「ピリブ」「ハナミズキ」 ●オリエンテーション ●題材「ひまわりの約束」「レット・イト・ゴー～ありのままに」 ●校歌を歌おう ●Plymouth Rock ●見上げてごらん夜の星を/ボレロ ●組曲《動物の謝肉祭》/バレー音楽《ボレロ》/交響曲第9番《合唱付き》 / 「ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう」/「モーツァルトの生涯と作品をたどろう」 ●実技テスト「校歌テスト」 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で愛唱した曲を楽しく歌い、音楽の仲間と授業へ導入を図る。 ・1年間の授業のオリエンテーションを行います。（授業内容、評価、取組について） ・1年間の音楽の旅のスタートを日本のポップスに定め、j-pop の名曲を味わう。 ・校歌を知り、歌おう。歌詞の意味や言葉の意味を味わい歌う。 ・ボディーパーカッションの音色の工夫 ・リコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付け、音色や奏法の特徴を生かして演奏する。 ・音楽の鑑賞を通して、声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取る ・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解する ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解する。 ・鑑賞した後に、感じ取ったことなどをまとめて発表し合い、理解を深める。 ・校歌を歌い、テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏の 流れ、声量、音程、姿勢、口形が評価の観点となる

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●花/見上げてごらん夜の星を/故郷 ●第三の男のテーマ/なごり雪 ●日本や外国の歌曲に親しみ、独唱に挑戦しよう ●三線に親しむ ●発音や発声などを工夫して声によるアンサンブルをつくろう 「オノマトペでリズムをつくろう」「オノマトペでアンサンブルをつくろう」 ●実技テスト 独唱 ●音楽ファイルの記録をもとに、各題材ごとに「学習のまとめ」を行い、自己評価。 ●期末試験の筆記テスト ●音楽ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱の喜びを味わう。 ・ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾けるようにする。 ・曲想を感じ取り、発声やフレーズなどを工夫しながら、独唱にふさわしい表現をする。 ・和楽器の音色や奏法の特徴を生かして演奏する。 ・オノマトペのもつリズム感やアクセントを生かしてアンサンブルをつくり、表現を工夫して演奏する。 ・今学期に歌った曲の中から1曲を選び、独唱の実技テストを行う。 ・これまでのファイルのまとめを行い、提出する。 ・2学期に学んだ内容について ・鑑賞シートの記述内容、学習のまとめを提出物評価とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞シートの記入、感想含む
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●表現を工夫して合唱やアンサンブルをしよう「サザエさん」「Oh Happy Day」「願い」 ●サンバやジャズに親しもう ●世界の諸民族の音楽に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう。 ・サンバやジャズの特徴を感じ取り、楽曲を演奏する。 ・世界の諸民族の音楽における声や楽器の音色の特徴をとらえ、多様な表現による音楽美を感じ取って鑑賞する。 	

評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、筆記テストを総合的に評価します。

主な観点

授業態度 学習課題（教材）に真面目に取り組んでいるか、遅刻せずに授業に出席しているか

提出物 毎回、確実に提出しているか

準備物 教科書、ファイル、筆記用具等を忘れずに持ってきているか

実技 正しいリズム、表現の工夫、正しい指使い（リコーダー、三線）

学習の最初と終わりで向上がみられるか

○各学期には、まとめとしてその学期で学んだ内容についての筆記テストを行います。

学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。苦手な分野でも自分なりに教材に取り組むことを期待します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none">・歌唱では、「声の音楽」を表現して味わうことを目指しています。声は自分だけが使える生きた楽器であり、精神状態と深い関わりがあるため、自分の意識のコントロールがとても大切です。また、発表などで人に聴いてもらうなど、客観的なフィードバックを行うとよりよい表現を行うことができます。・鑑賞活動では、一つ一つの曲に込められた歴史やドラマを想像することが大切です。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none">・発表が中心となるので、計画性が求められます。着実な準備を心がけましょう。・プリントなどの提出物が多くあります。丁寧に記入すること、期限を守ることが大切です。・グループ活動も多くあります。協力して学習・表現活動を行うことが大切です。